

川崎市民のための
生涯学習情報誌

Stage Up

ステージ・アップ

通巻 No.180

2011年6月1日 発行

(隔月発行)

ホームページからも

ご覧いただけます!



「川崎風鈴市」 とどろきフォトサークル 葛籠貫浩治

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
川崎市立図書館
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット

誌上ギャラリー

川崎大師の境内で毎年七月に行われている風鈴市も、今年で十六回目を迎える。全国から九〇〇種類、三二、〇〇〇個の風鈴が集まると聞いている。意匠をこらした色とりどりの風鈴が人々の目を楽しませる。その音色、姿かたち、色合いにひかれて、買い求めていく人が引きも切らない。風鈴に写る光や風景をねらって撮ってみた。



発行・(財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044-733-5560(代)/FAX 044-739-0085

<http://www.kpal.or.jp/>

ステージ・アップ TEL 044-733-5811

E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するため諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

～歌声響かせ、体と心の健康づくり～ 宮前民謡同好会

宮前老人福祉センターを活動の場に、20年以上にわたって民謡に取り組んでいる同好会があると聞いて、東急田園都市線宮崎台駅前にある同センターを訪ねました。

宮前民謡同好会の歴史は、同センターがオープンした昭和62年にさかのぼります。現同好会会長の村上多鶴子さんは、この年に募集された民謡講座の案内を目にして参加しました。一年間の講座を終えた後も、さらに技量を高めたいと感じ、仲間を募って同好会に発展させたとのこと。

この会の指導者は講座の講師でもあった今井東鼓(とうこ)さん。「こんなに長く続くとは思いませんでした」と喜びを語ります。力強く三味線を響かせながら、参加者一人ひとりの長所を認め、「この点に注意する



ともっと良くなる」と手本を示して励まします。

練習は、声ならしを兼ねて、これまで習った曲の復習から。取材にあたった私が東京の出身だと知って「東京音頭」で歓

迎してくださいました。その後、「大森甚句」を皮切りに、声を合わせて次々と唄い込んでいきます。その歌声の力強いこと、鍛えられたノドに圧倒されました。

練習の後半は個人レッスン。今井さんの三味線を伴奏に全力投球。他の会員が間(あい)の手を入れて応援します。こぶし回しなどの難しい箇所は今井さんの指導を手本に繰り返し練習します。

間もなく79歳になるという堤耕一さんは、幼少時からピアノ・コーラスと、西洋音楽一筋だったとのこと。しかし、様々な国の人の集まりがあると、各々お国自慢の歌を披露するのに、自国の民謡を歌う日本人がいないことに気づいたのが民謡を学ぶ動機になったとか。学ぶほどに「神代の昔から」歌い継がれてきた民謡の奥行きを深さを知り、魅せられていったそうです。



今井さんは麻生区老人福祉センターでも指導しています。毎年、多摩区で民謡に取り組む人たちと共に、「民謡合同発表会」を開催しているそうです。皆さんの頑張りから目が離せません。

■問合せ先 村上 090-2568-9738



ベトナムへ自転車を ～日本ベトナム友好協会川崎支部の活動から～

放置自転車が社会問題となっている昨今、撤去し保管した自転車もまた、引き取り手が現れず問題となっています。

「市民レベルでの友好関係を築こう」と設立された日本ベトナム友好協会川崎支部では、そのような自転車を修理し、ベトナムの子どもたちに贈る活動を2003年から行っています。ボランティアを公募して、1台1台修理・点検・清掃をし、川崎港からベトナム・ダナン市とクアンナム省へ送っているのです。

今年2月の活動には、87人のボランティアが参加し、これまで送り出した自転車は5700台を超えました。「時間があるから手伝っているだけだよ」とさりげなく語って作業に取り組む人、初めて参加した人からは「自分が乗っている自転車より新しく、高そうな自転車がいっぱいある」と驚きの声が聞かれました。

運営委員の一人、飯塚敏二朗さんが「自転車保管所の方々、ボランティアの方々、港湾の方々の協力、かわさき市民活動センターの補助金を得て送り出すことができます。色々な人たちの協力があって実現している活動なのです」と話してくださいました。飯塚さ

んは以前、友好協会のメンバーとしてベトナムを訪れた際、もらった自転車を自分のベッドの横に置いて大切にしている子どもの姿や、「なぜ、自転車をくれるの?」という素朴な質問に触れ、日本の現状とのギャップを強く感じたそうです。

2008年、友好協会の人たちは、ベトナム訪問で感じたことを『銀太のたび』という物語絵本にしました。放置自転車の旅を描いた物語です。この物語に心を動かされた2人の女性が「あんおりじなる」というコンビを組み、ミュージカルにして公演しています。

友好協会の人たちは今、「ベトナムに自転車を贈る活動を進めるだけでなく、日本の子どもたちの“ベトナムの現状を理解し、物を大切にする心”を育てていきたい」と考えています。

これらの地道な活動は、今後、日本とベトナムを結ぶすばらしい架け橋になるものと確信しました。

■問合せ先

日本ベトナム友好協会川崎支部 044-246-6823





シニアの パレット

“おと絵がたり”と“天体観察”の会

(主催：川崎・多摩美の山トラストの会)・(主催：オーロラ天文台・渋谷星の会)

川崎・多摩美の山トラストの会

8月初旬の夕刻、小田急線読売ランド前駅から津久井道を横切り、蝉時雨の中を多摩自然遊歩道の案内板に沿って歩きました。10分ほど山道を上っていると、左手の谷間から人声が聞こえてきました。そして、樹間に切り開かれたような広場が見えてきました。シニア世代を中心とした市民のボランティアグループの手によって支えられている「麻生区市民健康の森」と「多摩美ふれあいの森」です。

この貴重な緑を、次代を担う子どもたちのためにふる里として残したいと立ち上がった人たちが“川崎・多摩美の山トラストの会”（代表：岡村克彦さん）です。この夜、会の主催で“おと絵がたり”が、そして、“オーロラ天文台”と“渋谷星の会”の主催で天体観察会が開かれました。

6時半を回ってもまだ青空が残る森の中で、まずトラストの会の岡村さんから、この日の会の趣旨についてのお話。豊かな自然に恵まれた多摩美の森を守り、子どもたちの未来を思うトラストの会の人たちの心が、参加した人



たくさんの親子連れが集まって多摩美の森の環境について学びました

たちの胸に深くしみわたってきます。岡村代表のお話の次は影絵、“おと絵がたりの会”の人たちの出番。敷き詰められたシートに座った父と子、母と子らが身を乗り出します。

おと絵がたりって・・・

おと絵がたりの会代表の加藤妙子さんの進行で、まずは「手遊び」。同会の渋谷葉子さんの巧みなりードで参加者が手を上げ下げ、一気に引き込まれて行き、笑いが渦巻きます。

リラックスしたところで次はいよいよ影絵。一つめは「たまがわのフクロウ」。これは「多摩川の昔話」という本に残された川崎の民話からとった物語です。

次はおなじみの「花さかじい」。透明フィルムに遮光絵具を塗り、それを削り取るという手法で加藤さんが描いた版画風の影絵をスク



影絵で見事な花を咲かせる花さかじい

リーンに投影します。そして、語りの仲間がセリフや効果音を入れながら巧みに演じるのです。その中には小学生の男の子や女の子の姿もありました。

おと絵がたりの会は中原区にある住吉小学校で読書活動をしていたお母さんたちによって作られた会です。市内の様々な会場で活発に活動しています。影絵も語りも見事、子どものみならず、大人たちもスクリーンに展開する物語の世界に引きつけられます。会では毎年末、または年始に中原市民館で本公演を行っています。

そして天体観察

おと絵がたりが余韻を残して終わり、日が落ちたあとは天体観察。幸いにしてこの夜はうっすらと雲が残る程度の晴れの天気でした。天体観察会の主催は「オーロラ天文台」（2001年に小川誠治さんが麻生区の自宅に開設した施設）と天文同好会「渋谷星の会」。市内のこども文化センターや小学校を会場に、数年前から行われている取組です。

暗闇の中、3台の望遠鏡の前にはあっという間に親子の列ができました。宵（よい）の明星は肉眼でも確認できましたが、「これが土星だよ」といった説明の声には、子どもたちも息をのみます。

地域の大人と子どもの心が一つになって、この日の二つの会は大成功。子どもたちの未来の幸せを願う人たちの活動には頭が下がります。

オーロラ天文台の小川さんは「天体観察会の開催についての相談・問合せを待っています」とおっしゃっていました。



交替で天体望遠鏡をのぞく人たちは頭が下がります。

今回の取材を通して、未来を担う川崎の子どもたちの夢を広げ、大切な自然環境を守るために、多くの市民が様々な形でボランティアとして活動をしているということ、改めて教えられました。

■連絡・問合せ先

川崎・多摩美の山トラストの会：

tamamiyama-trust@jcom.home.ne.jp

おと絵がたり：<http://www.cl.bb4u.ne.jp/~otoe-net>

小川誠治さん：044-966-8488

渋谷星の会：http://www.geocities.jp/shibuya_star/

特集

**生涯学習
情報満載**

川崎市立図書館

～いまを読み、明日～

多摩図書館

多摩区総合庁舎の地下1階にあります。三方から外光の注ぐ中庭もあり、飲食もできます。1階入口・地下駐車場からエレベーターが利用でき、車椅子の方にも使いやすい図書館です。CDも所蔵しています。大人のためのおはなし会(6/25 10:30～)も企画します。

JR南武線登戸駅徒歩10分・小田急線向ヶ丘遊園駅北口徒歩5分 ☎044-935-3400

菅閲覧所 多摩区菅3-1-1

京王線稲田堤駅前にあります。通勤の方や地域の方に親しまれている小さな図書館です。開館時間は10時～17時。月曜日・祝日休館。 ☎044-946-3271

麻生図書館

駅から5分の図書館として、多くの方々にご利用いただいております。

子ども向けの「おはなしかい」はもちろん、「大人のためのおはなし会」「図書館探検ツアー」「マタニティーコンサート」「郷土史講座」の実施のほか、毎回テーマを決めた「特集展示」を行っています。皆さんのお越しをお待ちしております。

小田急線新百合ヶ丘駅徒歩5分 ☎044-951-1305

柿生分館 麻生区片平3-3-1

柿生小学校図書館との複合施設です。子どもの本の特集展示、定例おはなし会のほか、おりがみひろば、おたしのみおはなし会等を実施しています。 ☎044-986-6470

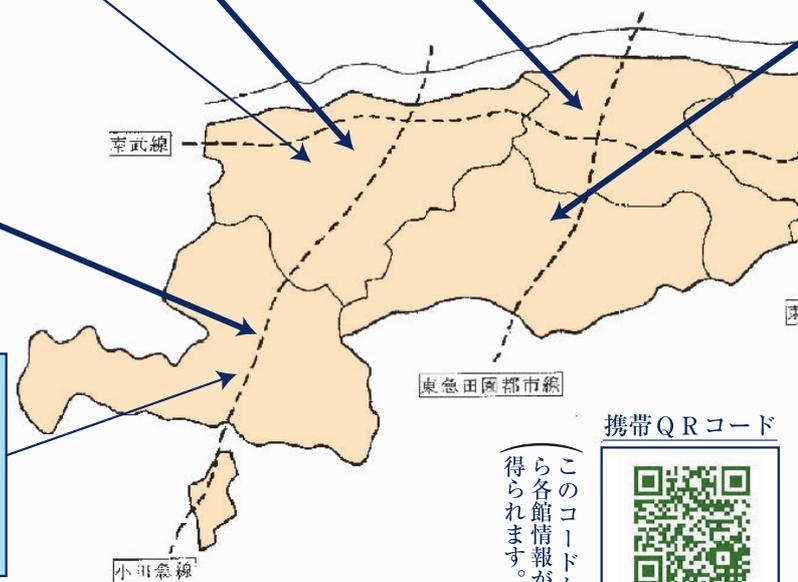
高津図書館

市立図書館の「児童サービス」の担当窓口になっており、「ひよっこおはなし会(2歳児)」「幼児のおはなし会(3歳以上)」「小学生のおはなし会」などを開催しています。また、大人の取組として「読書サークル」「俳句の会」などがあり、読書週間には展示紹介もしています。

東急田園都市線高津駅徒歩5分 ☎044-822-2413

橘分館 高津区久末2-1-1

図書館の窓の外には緑豊かな里山が見えます。気持ちよく本を運んでいただきたい図書館です。 ☎044-788-XXXX



携帯QRコード



このコードから各館情報が得られます。

<市立図書館・分館の利用案内>

詳細は、おたずねください!

- ①登録：各館とも本を借りるためには「貸出カード」が必要です。申込書と一緒に本人・住所が確認できるもの(健康保険証・運転免許証など)を提示してください。図書館ホームページ・館内利用者用検索機からも申し込めます。カードは全館で使えます。
 - ②開館日：平日(9:30～19:00) 土・日・祝日(9:30～17:00) 休館日は第3月曜日、特別整理期間、年末年始など。各分館の開館時間は平日(10:00～18:00)、土日祝(10:00～17:00)です。
 - ③予約・リクエスト：本が棚に見当たらないときに。1人10冊まで。CDは3点まで。CDを所蔵しているのは川崎・多摩の2館です。訪ねた図書館にないものも他の図書館から取り寄せられます。
 - ④借りる：本は10冊まで、CDは3点まで。15日間借りられます。
 - ⑤「お体が不自由な方、図書館から遠い所にお住まいの方のために」「貸出期間延長・続けて借りる場合」「閉館時間・閉館日の返却」・・・利用者のためのさまざまなサービスを用意しています。
 - ⑥川崎・鷺沼・登戸行政サービスコーナーと高津市民館にも図書返却ポストが設置されています。
- 【図書館ホームページ】 <http://www.library.city.kawasaki.jp/> 【電話自動応答システム】 044-739-0062

<学>
下記支障の(のみ)、南加瀬橋高校南菅中 ※詳し

図書館へ!!

をひろく!~

2000(平成12)年の“子ども読書年”を契機に、川崎市立図書館では、貸出システムの整備など、様々な取り組みを通して「読書のまち・かわさき」事業が進められています。

生涯学習に取り組む市民のよりどころの一つ、市立図書館各館の取り組みなどについて特集します。

宮前図書館

川崎市内20箇所のサービスポイントを巡回している移動図書館車「たちばな号」を運行している図書館です。「たちばな号」は白地に図書館のイメージキャラクター「つばきちゃん」をデザインした図書館バスですが、3,000冊の本を搭載して川崎区から麻生区までを一手に引き受け、巡回貸出をしています。

田園都市線宮前平駅徒歩10分

☎044-888-3918



中原図書館

市立図書館のまとめ館です。地域や行政に関する資料も多く所蔵。eメールレファレンス(eメールを使った照会)も受け付けます。相談専用カウンターが3階にあり、聞蔵(きくぞう 朝日新聞記事データベース)・ジャパンレッジ(辞書系データベース)検索も可能。ビジネス・医療情報・子育て支援コーナーもあります。平成24年度末には武蔵小杉駅前に新館が完成する予定です。

南武線・東急東横線武蔵小杉駅徒歩5分

☎044-722-4932

幸図書館

人口も面積も市内で一番小さな幸区。その図書館らしく床面積745㎡とコンパクトです。ボランティアのみなさんの活躍と職員とで、おはなし・読み聞かせ・朗読・外国語のおはなしなど、バラエティ豊かな“おはなし会”が行われています。

川崎駅・武蔵小杉駅から市バス幸区役所下車徒歩3分

☎044-541-3915

日吉分館 幸区南加瀬1-7-17
分館の中で貸出数が一番多く市民に親しまれています。特集企画をはじめ、おはなし会も盛ん。3月の「さくらフェスタ」ではリユース本の無料配布も実施しています。 ☎044-587-1491

大師分館 川崎区大師駅前1-1-5
毎週水曜日はおはなし会、夏休みは子ども映画会を開催。季節に沿った絵本の特集コーナーがあります。 ☎044-266-3550

田島分館 川崎区追分町16-1
ボランティアの協力を得て子どもへの読み聞かせ(毎水曜日)や絵本の充実・紹介などに力を入れています。 ☎044-333-9120

川崎図書館

韓国・朝鮮コーナーがあり、韓国語で書かれた本、朝鮮半島や在日韓国・朝鮮人の歴史や文化に関する本をまとめて置いています。英語・中国語で書かれた本のコーナーもあります。

また、クラシックからポピュラー・落語等、幅広いCDが借りられます。川崎駅前東口タワーリパーク4階

☎044-200-7011

神奈川県立川崎図書館

川崎市川崎区富士見2-1-4
☎044-233-4537

被災されて川崎にお住まいの方へ!!
川崎市立図書館がご利用いただけます。お住まい近くの図書館にお問い合わせください。

学校図書館の利用案内

市内小・中・高等学校は、土・日曜日を中心に、教育活動にない時間帯で図書室を開放し、図書の閲覧・貸出(一部の学校サービスを行っています)。

小・井田小・下河原小・上丸子小・大谷戸小・西梶ヶ谷小・久地小・稗原小・土橋小・宿河原小・岡上小・金程小・栗木台小

☎044-200-3303 (川崎市教育委員会生涯学習推進課へ)



その他の図書館情報

- 川崎市盲人図書館 川崎区日進町5-1 (川崎市福祉センター内) ☎044-211-3181
点字版・録音版・墨字版の図書サービスが受けられます。
- 他にも和光大学・明治大学などの図書館や私設図書館など市民が利用できる図書館があり、大学と市立図書館との連携事業も進んでいます。

施設めぐり

市内施設および財団が管理する施設のご紹介

川崎市多摩スポーツセンター



どなたでもご利用いただけるように、全面バリアフリーの採用。スポーツセンター初、プール完備施設です。スポーツ教室や施設利用など、みなさまの健康維持と仲間づくりにぜひお役立てください。

利用時間	●屋内体育施設 9:00~21:30	●野球場 6:00~18:00 (4月~10月)
	●テニスコート 9:00~20:30	8:00~16:00 (11月~3月)
	●温水プール 9:00~21:00	●トレーニング室 9:00~21:30

場 所 JR南武線稲田堤・京王相模原線京王稲田堤駅・小田急線読売ランド前駅から徒歩20分
 ※「生田コース」「中野島コース」の巡回バスも運行しています。

駐 車 場 140台 (思いやり駐車スペース3台・大型バス駐車スペース2台)
 利用時間 (4月~10月) 5:45~21:45
 ※野球場の利用が無い場合は7:45~21:45
 (11月~3月) 7:45~21:45

川崎市多摩スポーツセンター
 川崎市多摩区菅北浦4-12-5
 ☎044-946-6030
<http://www.kawasaki-tamaspo.com/>

※各施設、駐車場の利用料金、巡回バスの利用についてはお問い合わせ
 いただくか、ホームページで検索してください。

青少年の家

東急田園都市線宮崎台徒歩12分
 ☎044-888-3588

URL <http://homepage3.nifty.com/seisyounen-ie/>

世代を超え 温かな笑顔に包まれる青少年の家に

新年度がスタートし早2ヵ月、施設利用の時間等の変更も利用者の皆さんのご理解をいただき、各事業が順調に展開しています。青少年の家は、オープン以来青少年の活動や成長を見守り続けています。成長した青少年の中には青少年の家ユースワーカーズ倶楽部に入部し、事業推進の一翼を担うと共に、地域活動にも積極的に参加する等、ボランティア活動が息づいています。誰もが世代を超えて集い、活動し、仲間が増え、皆が笑顔に包まれるよう、活動の充実を目指しています。

- ◆乳幼児対象：よちよち歩きの子あつまれ (年13回)
- ◆小学生対象：プール開放、放課後おもしろ理科・造形・お箏クラブ、こどもエコチャレンジクラブ (年12回内3回の宿泊を含みます。)

◆小中高校生対象：ほのほのスクール (4泊5日) などがあります。また、誰でも参加できる一大イベント“青少年の家フェスタ”もあります。皆様のご参加・ご利用をお待ちしています。



よちよち歩きの子あつまれ
 — 焼き芋大会 —

子ども夢パーク

JR南武線津田山駅徒歩5分
 ☎044-811-2001

URL <http://www.yumepark.net>

「やってみよう」がいっぱいある

《プレーパーク》(冒険遊び場)

タワーやウォータースライダー、滑車ロープなどの手作り遊具があります。月・水・土・日曜日はプレーパークの日。火おこし体験や工具を使って遊べます。



《全天候型スポーツ広場“たいよう”》

昼夜・天候を問わず活用できる屋根つきの広場。バスケットや卓球、バドミントン、サッカーなどができます。また、鏡があるのでダンスの練習をすることもできます。

《音楽スタジオ》

スタジオ講習を受けるとカードが発行され、無料でスタジオが使用できます。また、スタジオ利用者によるロックフェスティバル“KUJI ROCK”も年に3回ほど開催されます。



《交流スペース“ごろり”》

本が置いてあります。友だちとおしゃべりしたり、本を読んだり、ボードゲームをしたりと、ゆっくり過ごせる部屋です。

情報ポケット

市内施設の各種取組・財団が主催する講座等のご案内

川崎市国際交流センター

☎ 044-435-7000

—2011 インターナショナル・フェスティバル in カワサキ—

日時：2011年7月3日（日） 10：00～16：00

場所：川崎市国際交流センター

17年目を迎えるセンター最大のイベント。地球市民としてふれあって世界を体感できる場。国際交流に取り組んでいる団体や外国人市民が活動や文化を発信し、みんなで交流するイベントです。



- 特別企画→友好都市提携30周年記念「中国・瀋陽市」について学ぼう!
- 姉妹都市オーストラリア・ウーロンゴン大学の学生が日本語で国や文化を紹介!
- 外国人アーティストによる音楽や舞踊のワークショップ!
- 世界の料理を屋台で味わってみよう!
- 他にも、物産展、お楽しみコーナーなど盛りだくさん!



—第17回ハーバード大学コロディロスコンサート—

日時：2011年6月25日（土）15：00～16：00

場所：川崎市国際交流センター ホール

米国の名門、ハーバード大学男声アカペラコーラス。ジャズ・スイング・バラード・ロック等の曲をミュージカル仕立てで歌います。

川崎能楽堂

☎ 044-222-7995

第93回 川崎定期能 ～若手能～

日時：平成23年7月17日（日）

第1部：狂言「名取川」（大蔵流）山本則秀他
13時開演 能「半部はじとみ」（喜多流）友枝雄人他

第2部：狂言「鎌腹」（大蔵流）山本則重他
15時半開演 能「融とおる」（喜多流）狩野一他

第21回 夏休み能楽体験・鑑賞教室

日時：平成23年7/27（水）、28（木）、31（日）

27日：講義「能のお話」

28日：体験（謡・仕舞・笛・小鼓・大鼓・太鼓）

31日：能の鑑賞（演目未定）

- 場所：川崎能楽堂 JR川崎駅徒歩5分
- 募集対象：小学生以上（大人・初心者も）
- 募集人員：100名（多数抽選）
- 受講料：2,500円（鑑賞のみ 2,000円）
- 申込方法：ハガキ又はFAX 川崎市川崎区駅前本町12-1（財）川崎市文化財団へ



FAX 222-8817
詳細は電話等でご確認ください！

夏休み特別講座 たのしいキッズセミナー 会場…川崎市生涯学習プラザ 問合せ 044-733-6626

- 日時：8月1日（月）～5日（金） 5日間 午前10：00～12：00、午後13：00～15：00
- 交通手段：JR南武線・横須賀線、東急東横線武蔵小杉駅下車徒歩15分
- 対象：川崎市内の小学校に通う3年生から6年生。受講料についてはチラシをご覧ください。
- 内容：国語・算数・理科・社会やパソコン・英会話・音楽・図工など19のコース
- 申込方法：案内チラシの申込書に記入。郵送・FAX・財団窓口で（チラシは区役所、市民館、図書館等で6月初旬から配布）
- 申込期間：6月4日～7月2日

申込締切
7月2日

夏の子ども創作教室 会場…生田中学校特別創作活動センター 問合せ 044-733-6626

教室名	内容	日時など	教材費
陶芸教室	動物型のプランターを作ろう！できあがったら花を植えます。	7月23、24、31日、8月7日 9：30～11：30 全4回	2,000円
ピンホールカメラ教室	ピンホールカメラを作って写真を撮ろう！	8月1、2、3日 13：30～15：30 全3回	3,000円
工作教室1	夢のパレードカーを作ろう！（モーターで走る紙工作）	8月8、9、10日 9：30～11：30 全3回	3,000円
工作教室2	動物や魚がとび出すステージを作ろう！（動くしくみの木工作）	8月10、11、12日 13：30～15：30 全3回	3,000円

- 交通手段：小田急線生田駅下車徒歩10分 ※駐車場はありません。
- 対象：市内在住または在学の小学校1年生から中学校3年生
- 申込方法：往復はがきに①教室名②参加希望者の名前（ふりがな）③性別④学校名・学年⑤郵便番号・住所⑥電話番号を記入し郵送。締め切り日必着。 ※1 複数の教室に申し込み可。ただし1教室につき1枚のはがきで。 ※2 締め切り後、定員に空きがある場合は、引き続き募集します。
- 申込先：〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 （財）川崎市生涯学習財団 事業推進室 044-733-6626

申込締切
7月6日

お見舞い 想定域をはるかに超えた大震災。かけがえのない人を失い、住まいや職を奪われた方々の悲しみ・不安…、いかばかりでしょうか。心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。 財団職員一同

～放送大学はあなたの生涯学習を応援します！～

放送大学平成23年度10月入学生募集

(教養学部・大学院文化科学研究科修士課程)

応募期間 平成23年6月1日(水)～平成23年8月31日(水)

いまさら
入学試験なんて？

入学試験はありません。学ぶ意欲が入学資格。満15歳以上であれば1科目から学ぶ選択・科目履修生に、満18歳以上なら卒業を目指す全科履修生としても、入学できます。

どうやって
学習するの？

テレビとラジオによる放送授業(週1回×15週)とテキストで学習を行います。学期途中の通信指導、学期末の単位認定試験に合格することで単位修得となります。

費用は
どのくらい？

必要な費用は入学科6,000円～22,000円(在籍期間により異なります)と授業料1科目につき11,000円[※]です。授業料は学期ごとに履修する科目の分を支払うので、無理なく続けられます。 ※放送授業の場合

興味ある講座は
あるかしら？

「心理学入門」「身近な統計」など、ビジネスに役立つ科目から、「文学」「歴史」「外国語」など教養を高める科目まで、経験豊かな教授陣による多彩な科目を開講しています。

忙しくて
時間が取れない？

テレビとラジオで授業を行うので、自宅で学習できます。また、学習センターの視聴覚室でまとめて視聴することもできます。一部科目はインターネット配信も…。

大学卒業
資格は
取れるの？

全科履修生として入学し、4年以上在学して124単位以上を修得すると「学士(教養)」の学位を取得できます。2・3年次への編入学制度もあります。

随時
見学可能



放送大学

詳しくは、電話・FAX・HPで
募集要項(無料)をご請求ください。



0120-864-600
www.ouj.ac.jp

検索エンジン(yahoo! JAPAN・Google 等)で、「放送大学」とご入力の上、ご覧ください。

オープンキャンパス・**神奈川学習センター**(横浜市南区大岡2-31-1)
個別相談会(※)を行います!
TEL 045-710-1910
東京世田谷学習センター(世田谷区下馬4-1-1)
TEL 03-5486-7701

7月3日(日)、9日(土)、17日(日)、8月6日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)
※8月23日(火)～28日(日)、30日(火)、31日(水)(個別相談会のみ)
6月26日(日)、7月2日(土)、10日(日)、8月6日(土)
※8月20日(土)、23日(火)～28日(日)、30日(火)、31日(水)(個別相談会のみ)



川崎市青少年地域間交流事業

ふれあいサマーキャンプ



川崎市の代表として楽しい交流を体験してください!

市内在住、在学の小学5年生～中学2年生

参加者募集 !!



コース名	日程	募集人数	参加費(円)
岩手県 花巻市東和町	7月28日(木)～31日(日)	小学生 24名	36,000
島根県 益田市	7月30日(土)～8月2日(火)	小学生 14名 中学生 6名	53,000 58,000
和歌山県 古座川町・太地町	8月2日(火)～5日(金)	小学生 16名 中学生 8名	35,000 47,000
長野県 富士見町	8月8日(月)～11日(木)	小学生 30名 中学生 10名	16,000 17,000
北海道 中標津町	8月17日(水)～20日(土)	小学生 14名 中学生 6名	58,000 70,000

■申込みは FAX・ハガキ・Eメールで 6月10日(金) 必着

申込みの際は、希望者全員(2名以内)の氏名(ふりがな)、住所、電話番号、性別、生年月日、学校名、学年、希望コース(第2希望まで)を明記し、下記までお送りください。定員を超えた場合は抽選となります。

* 6月19日(日)午後3時より公開抽選を行います。(川崎市生涯学習プラザにて)

* 7月2日(土)の参加者説明会(生涯学習プラザ)には、参加者は保護者同伴で出席してください。予備日: 7月9日(土)

■あて先 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 (財)川崎市生涯学習財団サマーキャンプ係

■FAX 044-733-6697

■Eメールアドレス summer-camp@kpal.or.jp

■問合せ (財)川崎市生涯学習財団 事業推進室 TEL 044-733-5572 (月～金)

■財団ホームページ http://www.kpal.or.jp で「ふれあいサマーキャンプ」を紹介しています。

